

## 第 42 回 一宮市地域公共交通会議議事録

### 【開催日時】

令和 6 年 1 月 18 日（木） 10：00～12：00

### 【開催場所】

オリナス一宮 3 階 多目的ホール

### 【傍聴人】

8 人

### 【議事内容】

#### 1. 開会

#### 2. 議題

##### 報告事項

##### (1) 市内バス路線等の利用実績

- ・事務局より資料説明

《質疑応答》

- ・千秋町コースと大和町・萩原町コースの構成比が資料 1 と資料 1－④で若干異なるが、理由はあるのか。

→事務局には再提示していただく。(会長より回答)

##### 協議事項

##### (2) 令和 5 年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について

- ・事務局より資料説明

《質疑応答》

- ・資料 2 P7 自己評価から得られた課題について、利用者が増加すると収益は増加すると考えられるがどうか。コスト構造の見直しにつながると捉えてよいのか。

→表現が不足しており、申し訳ございません。令和元年度の運賃収入と令和 5 年度を比較

し、1億円単位で減収している。資料1—④に、令和元年度から5年度までの利用者数を掲載しているが、50万人の減少に1乗車200円で試算すると、1億円の減収になる。金額として大きな数値であり、利用促進を図ることも重要であるが運賃体系の見直しも、新計画に基づき検討していきたいと考えている。(事務局より説明)

→P6までに、運賃収入の情報がないため、分かりにくい状況である。記載しない理由としては、現行計画の評価項目にないからだと考える。「減り続けている」と「前から減った」は異なる表現である。利用者数が増加し、運賃収入が減少しているということは、単価が下がっているとも考えられるが、その根拠も記載ない。

・P6 尾西北の考察に記載ある「+8.1%」は、何の数値か。

→昨年度からの増加分である。(事務局より説明)

→意味は分かったが、記載するならば「%」ではなく「ポイント」でお願いしたい。また、「前年と比較し」など、誰にでも分かるように、意図が伝わるようにお願いしたい。計画、評価などについては、原則、会計年度に合わせるなど統一してはどうか。その方が数値の間違いが少ない。次年度以降の協議会の進め方、計画書での数値の取り扱いなど、検討いただきたい。

・資料2 P7 町内回覧について現状はどうか。i-バスミニの目的地が拡大すると乗務員が不足するが、運用は大丈夫か。

→便利になると不足はでてくるが、地域住民でドライバーを補うことで進めたいと思う。(会長より説明)

#### 《意見・要望》

・せっかく事前資料をいただいたが、資料差し替えとページ数が異なるため、大変わかりにくい。

・差し替え頂いた場合は、その旨資料に記載いただきたい。

・現行計画において、目標はほぼ不達成となっている。目標の項目がおかしいのかもしれない。コロナの影響もあるかもしれないということで、多様な比較分析を実施している。

不達成であったことを踏まえ、新計画の策定につなげていただきたい。

・市内バス全路線の利用者数について、令和4年と平成29年を比較すると85%とあるが、P5 利用者数に追記するなど、見やすくする必要があります。また、区分・組み合わせが異なる。課題や対策については、もう少し文章の推敲をお願いしたい。

・P7 名鉄バスの路線バスについては、コロナ前と比較して運賃単価の増減はほぼない。

・皆さまにご意見を伺う場であるため、非常に勿体ない。詳細のチェックについては、会長一任で修正対応したい。評価内容については、計画の方で確認いただきたい。了承いただけるか。

《会長に一任する旨の協議：合意》

## 報告事項

### (3) 公共交通に関する住民懇談会について

- ・事務局より資料説明

## 報告事項

### (4) おでかけバス手形について

- ・事務局より資料説明

要綱の第3条において、運賃に関する協議の内容があったが、それを削除した。また、第9条で協議結果の取り扱いを、第10条で運賃料金部会を行うことを追加し、その中身については、関係者を置くことを記載している。(追加説明)

・9月までは議論をこの会議で実施し、事務局から提案いただき、この会議で議決した。10月の法改正で、運賃料金部会において非公開で協議することに変更となった。独占禁止法に抵触する可能性があるため、この会議での議論はできないこととなった。ただし、公正を期するため、パブコメや公聴会などが必要である。一宮市の場合は、この会議の運賃料金部会で協議することとなった。なお、私は出席できない部会である。(会長より追加説明)

《質疑応答》

- ・ウェブサイトで募集した結果はどうか。市民は実施について、知っている方がいないのではないか。

→公共交通計画とは別に、1月10日から運賃に対する意見募集を行ったが、意見は無かった。

#### 《意見・要望》

- ・本来であれば、本日に要綱を改正し、パブコメのPRを行い、本会議で報告していただくことがスムーズである。会長としては、このようなやり方は不適正であった。やはり、本会議で意見を出していただき、そのあとに運賃料金部会を開催することを強くお願いしたい。

→大変申し訳ございませんでした。今後は、本会議で協議を実施した後に運賃料金部会を開催したいと思う。(事務局より回答)

- ・運賃については、1か月前までの届け出で良い。

- ・新しい法令であり、全国の現場では混乱が生じている。本会議で決議しても意義はないため、会議での議論さえない自治体もある。ただし、サービスを定める本会議での議論が重要であると考えます。運賃収入の減少については、早急に究明いただきたい。また、認知度が大変低いためPRは必須である。富山県朝日町でライドシェアのアプリを導入し、全国的に注目を受けている。利用者は1日あたり3人と少なく、i-バスミニの方が良いものとなっているが、PRなどは素晴らしく、知名度は非常に高い。その前提において、困った方がいたら、利用できる状態となっている。一宮市においては、例えば、おでかけバス手形について、市内のどこにポスターが掲載されているか。露出も重要である。このような課題についても、新計画に掲載されているか確認したい。

#### 協議事項

##### (5) 第3次一宮市公共交通計画について

- ・事務局より説明

今年度中に策定を予定しており、2月上旬に手続きがあるため、今月中には計画を確定したいと考えている。(追加説明)

・今後のスケジュールを踏まえ、委員の皆さまには1週間程度の意見提出期間を設けたい。(会長より追加説明)

《意見・要望》

・資料5―② 既に意見の趣旨が計画に盛り込まれているものとあるが、どの部分に盛り込まれているか分かると助かる。持ち帰ってチェックするため、対応いただきたい。

○ライドシェアについて

《意見・要望》

・iーバスミニにおけるプロジェクトについて、計画書 29 ページの最後の文章については、ライドシェアの提案としてとらえているが、ここで説明をお願いしたい。また、25 ページ「⑥タクシーの高度化・環境整備」について、ライドシェアは基本的に配車アプリを住民の方が中心に活用していただく。料金についてもアプリ決済となる。そのため、利用者にはアプリ利用を習得していただく必要がある。朝日町の事例はアプリの整備が先行している。一宮市では、iーバスミニをどう活用していくか、交通ネットワークの中でライドシェアを活用していくこととなる。公共交通会議での議論は、愛知県内で最初ではないか。現在、愛知県ではガイドラインを策定しているが、保険制度が未定であり、そのあたりも調整が必要となる。iーバスミニをどう使うか、地域住民の方に運転に参画していただくなど、積極的な協力をお願いしたい。今後、協力していただく事が増えるが、交通不便地域をいかに無くすかが重要である。また、災害救助においても、バスが運行できない区間はタクシー車両が活用できる場合もある。是非、中核市である一宮市から、取組を進めたい。事務局も大変であるが、是非一緒をお願いしたい。

・法令を見ながら、実施していくことになる。一宮市では、iーバスミニについて需要があるが、タクシー車両がないため利用できない状況があり、この解決が早急な課題である。住民の協力が必須であるが、安心して運転していただけることが重要である。これらについては、既に計画に盛り込んでいる。なお、この案件は本会議で議論する対象となる。

・本会議を通じ、地域としては利便性が高く、安い公共交通があれば大変助かるという思いがある。そういう中で、それぞれ事業者の皆さま、行政の皆さまが知恵を出し、負担をしていた

だいている。

・社会福祉協議会のちょこっとボランティアに参加しているが、正式な輸送では買い物輸送ができないため、その中で、買い物支援を行っている。他の連区でも買い物支援の必要性が高いのではないか。発展的に情報提供し、ライドシェアに参加したい方が出てくるのではないかと考えている。簡便な手続きで、拘束時間も少ないならば、是非手をあげたいと考えている。地域の公共交通が良くなることは、地域の発展につながることであり、十分に組み込んでいきたい。

## ○住民懇談会について

### 《意見・要望》

・大変意義がある会であった。木曾川では3回実施し、問題意識の共有、新しい課題の抽出などを行った。しかし、普段の生活の中で、公共交通を考える機会がなく、萩原地区で実施しているような協議会が他の地区にはないという状況である。そのため、普段から公共交通がどこに向かうのか、更によくしていくためにどうするかなど、普段から情報収集ができる地域になる必要がある。ぜひ、行政の皆さまには、地区の協議会の立ち上げについて、指導いただきたい。そして、地域で普段から考える体制づくりを行いたい。木曾川・北方コースについて、利用者は回復していないが、新しいルートになってから、地域では1回は乗ってもらう無料のチケットを各世帯に配布し、良い点・悪い点を評価していただくなど、考えていきたい。

・尾西地域では1回の開催である。何回か開催できると多様な方に周知ができる。バスを利用すると、いろんな方とお話ができる。そのため、懇談会とは別で、利用者の意見が非常に大事であるため、意見を直接聞いていただきたい。苦情も含め、多様な意見がある。尾西においては、地区により便利な場所もあるが、更なる周知が必要であり、お願いしたい。また、高校の撤退によるバス路線について懸念している。地球の歩き方の愛知県版を購入したが、一宮市について、神社やレトロなまちなどいくつも記載があった。更に、魅力ある一宮市を発信できると良い。

・ご提案いただいた乗り込み調査などは、モニター制度などとして、制度化しても良い。

・一宮市の中で連絡会があるが、毎年会が減少している。地域協議会もあるが、若い方が多忙

で担い手が不足しており、次の世代に継承できない。住民懇談会も実施していただき、木曾川は若い世代も入っていただいたと聞いたが、他地区では若い方の参加が少ない状況であった。地域の活性化という意味では、若い世代の意見をどう把握し、取り込んでいくかが重要である。

- ・計画策定に向けて住民懇談会を開催いただき、ありがとうございます。パブコメも多くいただき、影響があったのではないかと考える。

- ・これまで一宮市では、全連区を回って懇談会を実施することは無かったため、地域の声を直接聞くことができ、大変良かった。名古屋大学の皆さまにも感謝申し上げたい。

#### ○おでかけバス手形について

##### 《意見・要望》

- ・広報に掲載とあるが、そこからどのように活用したらよいかの情報もあると良いのではないかと。

- ・資料4 おでかけバス手形の取り扱いについて、補足説明をお願いしたい。説明は後日で問題ない。

→本格運行としたい。(会長より説明)

#### ○計画素案について

##### 《意見・要望》

- ・評価の中で、i-バスミニの予約が取りづらいとの記載があったが対応策の記載はなかった。しかし、計画案に盛り込まれていることで納得できた。奥町は公共交通不便な場所が多く、公共交通に期待したい。

- ・現状に困っている方を助けられるよう、実効性のある計画ができたと考える。計画において実行性を重視したため、足らざる点として、夢がないと指摘したい。パブコメに新しい交通の指摘もあったが、大きい夢については検討し続けたい。子どもたちの夢の中に描かれる公共交通であることが大事である。子どもたちが担い手になりたいと思えること、尾張の雄として、先進的な公共交通を作っていくことが大事である。ぜひ、この点についても、研究や検討をお

願いたい。

- ・ご指摘いただいた、夢は非常に大事である。先日、自走式ロープウェイに乗車したが、とても面白い乗り物であった。一宮市でも、良いものを紹介していきたい。
- ・計画を進めるにあたり、協議事項は沢山ある。この5か年をスタートするにあたり、住民の皆さまが改訂されてよかったと、良い公共交通になったと喜べる実効性のある計画としたい。事業者の協力も必須であり、協力をいただきますようお願いしたい。
- ・障がい者としては、移動手段が困難になっている方が多く、このような詳細な計画を立てていただいている中で、実効性のある計画にして頂きたい。毎日の生活の中で、福祉課の制度も利用しているが、利用を断られることもあり、実際には使い勝手が悪いこともある。ライドシェアも含めて、地域の中で、交通弱者が利用できる仕組みづくりをお願いしたい。
- ・アプリは視覚障がいの方が利用できるか、実際に使えるものとなるのか、大事な視点である。乗継なども、きちんと調整していく必要がある。

○最後に

- ・資料5―②を委員へ再配布し、1月26日（金）までに回答をいただきたい。
- ・計画書案について、詳細は26日まで意見を頂戴するが、方向的には良いか。

《一同：挙手にて了承》

### 3. その他

### 4. 閉会